

## 第5章 烏山線（烏山～宝積寺）

平成 27 年 9 月 21 日（月）、五連休の真ん中である「敬老の日」、栃木県（那須烏山市・高根沢町）を走っている”烏山線”（22.4 km、非電化のワンマンカー、単線）を踏破。本日は秋晴れに恵まれ、本年の歩きの中では最高のウォーキング日和であった。営業キロ 22.4 km の歩きに、約 6 時間半の所要時間を要す。当初は 9 月 19 日（土）を予定していたが、この日は新宿から西新宿経由で自宅まで、ジョギングと歩きの二刀流に切り替え、本日の歩きとなる。



赤羽駅



宇都宮駅



宇都宮駅



4 時半に起床。体調を整え、自宅は 6 時過ぎに出る。南林間発 6 時 34 分の町田行で、相模大野乗り換えで新宿駅へ。そこから埼京線で赤羽まで行き、7 時 58 分発の宇都宮行きで宇都宮へ。宇都宮には 9 時 36 分到着。車中からの風景は懐かしい。人間の記憶とは、幻の如し。途中停車駅は忘却の彼方。しかし、踏破できなかった古河駅、宇都宮の一つ手前の雀宮駅は鮮明に覚えていた。次の烏山行きは 10 時 3 分、8 番ホームから発車。待ち時間を利用し、8 番ホームにある立ち食い蕎麦屋“野洲そば”でコロッケそばを頂く。



烏山駅



烏山駅



烏山線の車両（下野花岡駅）

※スタート開始の” 烏山駅”、下り列車がやって来た” 下野花岡駅”

車両は2両編成のワンマンカー。パスモは宝積寺から烏山までの区間は一切使用できず。宝積寺駅からは、真剣な眼差しで、本日歩く幹線道路や川をチェック。大金から滝にかけて荒川が流れていた。山間は鴻野山駅から烏山駅まで続いていた。それ故、この区間の歩きは相当難しく感じた。大金駅で離合。烏山駅には、10時57分到着。烏山線は現金払精算のため、烏山駅で10分位、精算に時間を要す。私の前に10人位いたこと

もあり。



滝駅への路

滝駅

11時11分、烏山駅まえをデジカメに収め、2.7km先の滝駅を目指す。11時42分、左手に鉄道ありのポジションで歩く。11時55分、第二滝踏切を横切り鉄道の右側を。この境界で数分行き過ぎたか否かで右往左往する。それは、地図で現在位置が確認できなかったからだ。地図から行き過ぎたのではないかと心配する。夫婦連れの旅行客のような方と対面したので、恐る恐る聞いたところ、「少し行った先に滝駅があります」との回答を得て安堵する。「滝駅前駐車場」があり、この辺りかと思い右往左往するが、見当たらず。それで、100m位歩いた先に神長踏切があり、その右手に本日の最初の滝駅があった。



小埴駅への路

この駅で、誤ってとんでもない方向に行く危険性があったが、よく地図を解明したことが功を奏す。ここから2.5km先の小埴駅への道筋は恐る恐る歩く。それ故、地元の人に数人にお伺いし、迷わず進むことができる。途中、T路地交差点の自動販売機でペットボトル購入。12時46分、森田踏切を横切り鉄道の右側を歩く。間もなく行くと、線路に沿った路地があり、この道を歩く。小埴駅には13時00分到着。この駅から通り抜けられないので、再度交差点（13時14分）に戻る。よく見ると、小埴駅への案内板があった。国道10号線に合流して、大金駅を目指す。13時40分、203歩ある荒川橋（荒川）を渡る。川は先日の台風がないかのような流れであった。大黒天が登場する大金駅

には 14 時到着。



小埴駅



小埴駅への看板

大金駅から鴻野山駅まで山間を歩く。14 時 16 分、下り列車の汽笛を聞き安堵する。それから暫く歩くと Y 路地にぶつかる。左に行くか右に行くか迷うが、左の宇都宮方面に進むことにする。ここでも不安の歩きとなるが、地図の解釈を信じたのが大成功。15 時 2 分、鉄道左手に見つけ安堵する。15 時 9 分、第三喜連川踏切を横切り鉄道の左側となる。この踏切から 300m 位歩いた先に鴻野山駅があった。この駅は福祿寿と関連付けていた。15 時 23 分、那須烏山市から高根沢町となる。ここから沿道に民家が多くなる。15 時 55 分、布袋和尚の仁井田駅に到着。途中、間もなく収穫を迎える稲にシラサギの姿があった。16 時 23 分、五行橋（五行川）を渡る。国道 10 号線に合流し、花岡交差点を左折し、県道 181 号線を 783 歩歩いた先に踏切があり、鉄道に沿い 200m 位戻った先に下野花岡駅(16 時 42 分)があった。丁度 2 両編成の下り列車がやってくる。列車をデジカメに収めて、16 時 54 分、再度花岡交差点に戻る。17 時 30 分、宝積寺まで 1 km 地点に到達。宝積寺駅には 17 時 47 分到着。運よく 17 時 51 分の宇都宮行きに乗り、宇都宮 18 時 5 分の上野行に乗り継いで自宅へ。自宅には 21 時 26 分到着。



大金駅



鴻野山駅

烏山線は烏山から宝積寺(ほうしゃくじ)までの各駅が七福神で関連付けられていて、非常に愉快で縁起のいいコースであった。このことは、小埴駅で気づく。すなわち、烏

山（毘沙門天）～滝（弁財天）～小埜（こばな：恵比寿尊）～大金（おおがね：大黒天）～鴻野山（福祿寿）～仁井田（にいた：布袋神）～下野花岡（しもつけはなおか：寿老人）～宝積寺（七福神の宝船）。特に、縁起のいい大黒天と関連付けた”大金”という駅名は、これまで対面した駅名で、非常に印象深い駅名の一つになる。沿線には秋の味覚の栗や柿、それから黄金色した稲等で一杯であった。



仁井田駅

烏山線の各駅は、幹線道路には沿ってなく、カニのようなジグザグの歩きが余儀なくされた。しかも、烏山線は非電化のため”鉄道案内人”としての電柱がないし、烏山～鴻野山（営業キロ 13.3 km）は山間を走っている。それ故、地図なしでは難しいコース。一例として小埜（こばな）駅や下野花岡駅。その分ウォーキングの醍醐味を十二分満喫できる一日であった。



白鷺



下野花岡駅

加えて、鴻野山まで続く小高い山間を心地よい状態で軽快に歩いて最高の一日であった。秋晴れの中、いい汗をかくことができ、今日も天や神に感謝あるのみ。本日の営業キロは 22.4 km、万歩計は 57,612 歩だった。これで、営業キロの通算は、8,285 km（活動回数は 416 回目）となる。



宝積寺駅